

施策評価シート （評価対象年度：平成30年度）

1. 基本的事項

①施策名〔施策小〕	1 景観行政団体への移行	②施策番号	3203
③まちづくりの方向〔政策(章)〕	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち		
④基本施策〔施策大(節)〕	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします		
⑤基本的方向〔施策中〕	7 景観の形成		
⑥担当部名	⑦担当課名		
市民生活環境部	環境整備課		

2. 施策の現状把握

[1] 施策の対象・意図

①施策の対象(誰、何に対して施策を実施するのか)	市民及び駐輪場利用者・自転車利用者等
②意図(対象をどのような状態にしたいのか。何を狙っているのか)	市内及び駅前の景観を創出する。
③環境(この施策を取り巻く状況はどのような状態なのか、また、国や府の動きはどのような状態で、今後どのように変化していくと考えられるか)	鉄道駅までの交通手段として自転車を利用する市民は多い。

[2] 施策指標及び推移

施策指標(成果指標)	単位	指標とした理由・考え方
① 駅前放置自転車撤去台数 計算式:	台	駅前や駐輪場内に放置された自転車を撤去することにより、周辺の景観保持や歩行者の通行の安全確保につなげるため。
② 計算式:		
③ 計算式:		

指標名	単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	備考	
① 駅前放置自転車撤去台数	台	目標値			400	—		
		実績値	375	316	313	—	—	
		達成率						
②		目標値						
		実績値						
		達成率						
③		目標値						
		実績値						
		達成率						

[3] 施策を構成する事務事業

事務事業名	成果指標					総事業費(千円)			事務事業評価結果		重点化
	指標名	単位	H29実績	H30実績	R1見込	H29実績	H30実績	R1見込	総合評価	今後の方向性	
1 違法屋外広告物除去事業	除去率	%	100	100	100	482	486	486	A	ア	
2 自転車置場管理事業	駅前放置自転車の台数	台	199	121	400	10,598	10,442	10,491	A	ア	◎
3 放置自転車対策事業	放置自転車撤去台数	台	199	121	400	6,084	6,164	6,135	A	ア	○
4											
5											
6											
7											
8											
計	3					17,164	17,092	17,112			

3. 施策の評価

評価の視点	説明・コメント等
①本施策の意図すること(目的)は、上位施策(施策中)の達成にどのように貢献しますか。 (施策所管課等としての考えをお示ください。)	駅前及び駅前の駐輪場を整理整頓することで、交通の利便性や景観の形成を図る。
②本施策で設定した指標から何が読み取れますか。 (2[2]の表の数値の推移から分析できることをお示ください。)	自転車の撤去台数が減少傾向にある。
③本施策において市民、団体等との役割分担や市の関与は適切ですか。 (施策所管課等としての考え(理想と現実)をお示ください。)	自転車利用者が適正に駐輪場を利用することで、駅前的美観が保たれる。
④施策を構成する事務事業は適正ですか。 (2[3]を踏まえ、施策目標に対し事務事業にずれはないか、数は適正かについて考えをお示ください。)	自転車利用者対策として、駐輪場の管理及び放置自転車対策は駅前的美観を保つ上で重要である。
⑤施策を構成する事務事業の中で重点化及び縮小化についてどのように考えますか。 (2[3]において、◎、○、▲とした理由をお示ください。)	鉄道駅までの交通手段として自転車を利用する市民が多いことから、今後も自転車関連事業は重要である。

4. 一次評価(所管課評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
一次評価	B	自転車の利用者が多く、今後駐輪場の増設や有料化の検討を行う必要がある。	

5. 改革、改善案

即時的対応 (すぐに取り組む改善案)	実態を把握する。
短期的対応 (1、2年のうちに取り組む改善案)	駐輪場の利用状況により、増設が必要な個所を把握する。
中長期的対応 (3~5年をめぐりに取り組む改善案)	駐輪場の増設、有料化等の検討を行う。

6. 二次評価(行革・財産活用室評価)

	評価(A~D)	課題等	A: 施策達成に向けた取組や展開などが大変評価できる B: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われている C: 施策達成に向けた取組や展開などが適切に行われているものの、改善の余地がある D: 施策達成に向けた取組や展開などが不十分であり、改善の余地が大いにある
二次評価	B	放置自転車及び違法広告物の撤去により景観保持への取組が適切に行われている。 駐輪場の適正配置による放置自転車減少への取組を継続して進められるとともに、受益者負担の適正化についても検討を進められたい。	